



Tower of Hanoi

(ハノイの塔)

【関連するSSコンピテンシー】

	仮説構築力	<p>観察や情報から問題解決のための仮説を立てる能力</p> <p>(問題の把握、目標の設定と研究の方向性確認、複数の解決法発想、関係要因・関連変数の予測ができる)</p>
	協働する力	<p>他者と協力し、共に成果を上げる能力</p> <p>(協働学習・グループワークの重要性を認識する、適切に自分の個性を活かしながら他者と関わることができる)</p>
	粘り強さ	<p>困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢</p> <p>(明快な答えが出るまで考える、物事を学ぶときは徹底的に調べる、予期しない出来事は原因がわかるまで調べる姿勢をもつ)</p>

実験

ハノイの塔のパズルを動かして、実験してみよう！

円盤の枚数が2枚から
実験してみよう！

実験

ハノイの塔のパズルを動かして、実験してみよう！

円盤の枚数が n 枚！

どのようにしましょう？
班で考えてみましょう！

インドのガンジス河の畔のヴァラナシ(ベナレス)に、世界の中心を表すという巨大な寺院がある。そこには青銅の板の上に、長さ1キュビット、太さが蜂の体ほどの3本のダイヤモンドの針が立てられている。そのうちの1本には、天地創造のときに神が64枚の純金の円盤を大きい円盤から順に重ねて置いた。これが「ブラフマーの塔」である。司祭たちはそこで、昼夜を通して円盤を別の柱に移し替えている(移し変えのルールの説明は省略)。そして、全ての円盤の移し替えが終わったときに、世界は崩壊し終焉を迎える。